

Press Release

報道関係各位

Panaya、SAP プロジェクトを劇的に変革する AI 搭載の 「不具合修正 Note 分析」をリリース

2023年7月11日 Panaya Ltd. (本社：イスラエル Hod Hasharon CEO David Binny、以下 Panaya) は、SAP 影響分析ツールにおける革新的な新機能として「**不具合修正 Note 分析**」をリリースしました。AI を搭載した本機能は、最新の *SAP Note 情報を全て解析し、顧客の環境に関連する適用すべき Note 情報を自動的に提案することができます。これにより、テストフェーズでの時間と手間を削減し、不具合や移行のために必要な最新情報を効果的に把握することが可能です。

***SAP Note** は、SAP 社が提供する、標準機能の不具合を修正するための修正コード、または問題解決や機能変更に関する技術情報です。

国内の多くのお客様が使用されている SAP EPR6.0 の、EHP6 を例にとると、31 の SPS、1600 の SP がリリースされており、その中には 330,684 の Note が含まれています。それ以降も、日々、新しい Note がリリースされ、発覚した不具合が修正されています。

背景

SAP ERP6.0 から S/4HANA への移行、また S/4HANA のアップグレードは、プロジェクトの開始からテストまでに、通常 12 ヶ月以上の長期プロジェクトとなりますが、この期間にも SAP Note は日々リリースおよび更新されています。テストフェーズでは標準機能の不具合が発生することが多く、最新 Note の調査や SAP サポート部門への問い合わせなどが必要になります。これによってテストが一時中断され、プロジェクトスケジュールに深刻な影響を及ぼす可能性があります。また、プログラムエラーに限らず、最新の SAP Note にしか含まれない重要な情報も多く存在しており、十分な初期アセスメントを行っていても、想定外の機能変更や必要な移行作業の見落としなどが、テストフェーズで初めて問題として発覚することが数多くあります。

「不具合修正 Note 分析」について

Panaya の新機能「不具合修正 Note 分析」は、これらの問題を解決するため、多くの SI 企業やユーザーの要望によって開発されました。クラウド上にある Panaya のデータベースが、日々更新される Note を日次で取り込み、お客様の環境に関連して適用すべ

きNoteをPanayaのAIが48時間以内に自動提案します。お客様は事前に最新のNoteを適用し、プロジェクトを進めることで、予期しない問題による手戻りや遅延のリスクを最小限に抑えることができます。

期待される効果

国内最大手のSI事業者によると、テストフェーズで発生した不具合の調査・対応にかかる工数は、約半数がSAP標準機能の不具合や情報不足に起因しています。特にSAP標準機能の不具合が終盤のシステムテスト・運用テストで発生すると、1件あたり1週間以上のテストの中断などのクリティカルな状況をもたらしています。Panayaの新機能は、これらの障害対応の工数を劇的に削減し、プロジェクト遅延のリスク低減にも大変効果的です。

Panayaについて

Panayaは、クラウドベースのERP/CRMアプリケーションの影響分析とテストツールを提供しています。弊社のチェンジインテリジェンスプラットフォームは、組織が継続的にアプリケーションを変更し、ビジネス要求に応じてタイムリーにイノベーションを提供することを可能にします。Panayaは、2006年以降、62か国にわたりFortune500社の3分の1を含む3000社の企業に導入され、迅速かつ高品質なアプリケーションのリリースを支援しています。国内においても300社以上のSAPプロジェクトに導入されています。不具合修正Note分析機能については<https://www.panaya.com/jp/blog/35128/>をご参照ください。